

# 平成29年度(第40期)事業報告

平成29年4月1日から30年3月31日まで

## I 事業の状況

郷土おかやまの自然や文化的遺産に対する県民の理解を深め、保護・保全・景観の美化等に努めるとともに、郷土ゆかりの先賢の顕彰と、伝統に根ざした新たな地域文化の創造を目指し、県、市町村、民間団体等と連携して次の事業を実施した。

### 公1 文化財等保護活用事業(第4条第1号、第4号関係)

#### (1) 岡山の文化的遺産等の保護、活用に関する事業

##### ① 備中漆復活支援

###### ア 備中うるし利活用協議会の事務局運営

復興の兆しが見えてきた「備中漆」の利活用を考えるとともに、岡山県の漆工芸の振興に寄与する事業を実施することを目的に、平成23年度末に岡山県、備中漆の産地自治体、漆工芸の有識者等で設立された「備中うるし利活用協議会」の事務局として、会の運営にあたりるとともに、普及啓発事業の実施に努めた。

- ・ 平成29年度第1回協議会 9月28日(木) 岡山県庁分庁舎  
平成28年度事業報告・決算、意見交換等
- ・ 平成29年度第2回協議会 3月19日(月) 岡山県庁9階第3会議室  
各団体の平成29年度事業実施報告、30年度事業予定報告、意見交換等

###### イ 第3回 もっと伝統工芸 備中漆展実行委員会報告会

7月18日(火) 新見美術館

###### ウ キッズクラフト うるしカトラリー絵付け体験の共催 11月4日(土)

高梁市図書館4階 キッズライブラリー

##### ② 文化財庭園後楽園の保護・活用

###### ア 後楽園の伝統行事等に併せた行事等へ彩りを添える取組

- ・ 茶つみ祭 5月21日(日) 茶つみ体験事業
- ・ 観蓮節 7月2日(日) 延養亭での箏曲演奏、茶席等
- ・ 名月観賞会 10月4日(水) 延養亭での箏曲演奏、茶席等

イ 後楽園の魅力発信のための財団独自の取組

- ・ 初夏の延養亭特別公開 5月22日(月)～28日(日) 参加者 666人  
午前9時30分から1日6回(土、日は7回) 各回25分程度
- ・ ハナショウブ株分け体験講座の開催 6月20日(火) 参加者 24人
- ・ 岡山後楽園の庭しごと体験講座『苔玉作り』の開催 9月5日(火)  
参加者 19人
- ・ 稲刈り体験会(井田) 10月11日(水)  
岡山市立中央小学校5年児童143人
- ・ 「岡山後楽園で能をたのしむ会」の開催  
岡山後楽園能舞台 10月7日(土) 参加者 270人  
演目 能：弱法師、船弁慶 狂言：寝音曲 ほか
- ・ 秋の延養亭特別公開 10月23日(月)～10月29日(日)  
参加者 605人  
午前9時30分から1日6回 各回25分程度 各回15名  
ただし、10月25日(水)は午前中のみ3回、10月28日(土)は午後のみ  
4回、10月29日(日)は1日7回
- ・ 第7回後楽園写真コンテスト～「私のイチ押し!後楽園」  
募集期間 8月1日(火)～9月30日(土) 応募総数 248点  
審査 10月5日(木)  
表彰 12月23日(土・祝) 岡山県立博物館講堂  
写真展 12月23日(土・祝)～1月8日(月・祝) 鶴鳴館本館
- ・ 後楽園オリジナルカレンダー『私のイチ押し!後楽園』販売  
A4判オールカラー中綴じ型

ウ 後楽園の歴史的、文化的価値を国内外の人によりよく知ってもらうための取組

- ・ 後楽塾(後楽園専任ボランティア)の育成、活動支援  
園内ガイドに必要な歴史的知識を提供し、定期的にミニ講座等でフォロー  
アップに努め、サポートを行った。
- ・ 第11回大名庭園民間交流協議会(大名庭園サミット:開催地 岡山市)  
「大名庭園を世界遺産に～世界遺産・日本遺産の提言に向けて」への協力  
(万城あき主任研究員)

- ・ 「岡山後楽園史」、「岡山後楽園なるほど大百科」の頒布
- ・ 後楽園公式HPの開設、更新

エ 後楽園の入園者への利便性向上の取組

- ・ 音声ガイド、コインロッカー等のサービス
- ・ 記念メダル、新茶、紅茶等の頒布

③ 自然保護事業

ア 蒜山タンチョウの里（真庭市）の支援

引き続き運営支援を行った。

イ （公社）日本ナショナル・トラスト協会との連携

全国のトラスト活動について情報収集を行うとともに、行事等の情報提供を行った。

(2) 岡山県ゆかりの先賢の顕彰に関する事業

① 「内田百閒記念碑園」の維持管理

内田百閒記念碑園（岡山市中区旭川河川広場）の維持管理を行った。

道路境界へのサツキ（岡山後楽園育成苗）植栽を実施

② 岡山県庁分庁舎(旧三光荘)百閒コーナーの管理

随時展示替えを行った。

③ 「池田光政公御涼所跡」の維持管理

平成22年度に整備した池田光政公御涼所跡の「甘棠碑と遺愛<sup>かんとうのひ</sup>榊<sup>いあいのうめのひ</sup>碑」及びウメ（花香実）の広報並びに地元町内会等と協働して維持管理に努めた。なお、ウメについては、間引きと移植を行った。

④ 「岡山大学附属図書館医学部分館・資料室物語」(大塚薬報:発行大塚ホールディングス)への協力

医学者生田安宅、中浜東一郎の事績ほか幕末明治維新期、明治大正期の群像の寄稿、校閲ほかの協力（万城あき主任研究員）

公2 普及啓発事業（第4条第2号関係）

(1) 資料の収集、保存・公開

① 岡山後楽園資料(昭和中期の入園券等)の寄附受入

② 木堂関係資料(木堂書額「天地同心」等)の寄附、寄託受入

故犬養道子氏のご遺族や倉敷市の龍昌院から多数の寄贈・寄託を受け、順次公開予定

③ 嘉平太関係資料(精義塾資料等)の寄附受入

塾報「精義」への寄稿文直筆原稿

④ 「岡山県郷土文化財団の歩み(高山雅之著 岡山県郷土文化財団編)」岡山文庫307(日本文教出版株式会社)の資料提供、編集及び一部執筆

(2) 講演会・研修会等の開催

① 郷土文化講座(岡山県立図書館 午後1時30分～午後4時)

(ア) 「犬養木堂が挑んだ近代日本の光と闇」 1月23日(火)

講師 板野 忠司 (犬養木堂記念館館長) 受講者79人

(イ) 「岡山をめぐる中世の宗教者たち」 2月20日(火)

講師 苅米 一志 (就実大学人文科学部教授) 受講者78人

(ウ) 「地下構造からみた岡山平野の成り立ちと地震災害」 3月6日(火)

講師 西村 敬一 (岡山理科大学客員研究員) 受講者74人

(エ) 「岡山市中心部の映画史跡を巡る」 3月13日(火)

講師 世良 利和 (映画批評家・岡山理科大学兼任講師)

受講者49人

② 第7回おかやま文化フォーラム

日時：12月2日(土) 午後1時～午後4時

参加者170人

会場：岡山県立美術館2階ホール

テーマ「近世の実像を求めて 史料の語る近世岡山」

趣旨説明 倉地克直岡山大学特命教授

事例発表 1 「倉敷の町と大橋家一族」

山本太郎倉敷市総務局総務部副参事(歴史資料整備室担当)

事例発表 2 「村の記録と向きあうー和気郡豪農大森家の系図調査よりー」

森元純一和気町歴史民俗資料館職員

事例発表 3 「武家社会に生きるー津山藩松平家文書の武士たちー」

尾島治津山郷土博物館館長

パネルディスカッション 司会 倉地克直岡山大学特命教授

### ③ 現地研修会

ア 岡山の石の文化をたどる現地研修会 6月9日(金) 参加者52人

北木島石切場、工場見学(石切体験、石切唄)、北木石記念室等を見学

イ 三原城と小早川隆景ゆかりの地を訪ねる現地研修会 6月30日(金)

参加者62人

築城450年を迎えた三原城周辺等を三原市教育委員会山崎愛一郎文化課学芸員の解説で見学、岡山に点在するゆかりの猿掛城跡と備中高松城跡を見学

ウ 大政奉還ゆかりの地を訪ねるコース(高梁市～倉敷市玉島)

11月16日(木) 参加者42人

高梁市教育委員会田村啓介参与と三浦孝章文化財保護主事の案内で、高梁市城下町に点在する八重籬神社や藩主の居館、政庁であった御小屋跡や武家屋敷、山田方谷が学頭を務めた有終館跡などを見学、高梁市歴史美術館で開催の特別展「幕末の備中松山藩とそれを支えた人々」を西雄大学芸員の説明で観覧。玉島では、辰戦争で藩兵の命と玉島を戦渦から救った熊田恰ゆかりの旧柚木家住宅西爽亭を九代目当主柚木爽一郎氏の説明で見学、希望者は境内に熊田神社がある羽黒神社周辺を散策

エ 池田治政公200年遠諱記念 池田治政の面影をたどるコース(現地集合)

1月19日(金) 参加者33人

岡山後楽園「茂松庵」、「寒翠細響軒」等建物を中心に説明

説明: 万城あき主任研究員

特別展「池田治政公200年遠諱記念 池田家の至宝と曹源寺」

解説: 橋本龍主任学芸員(林原美術館)

隠居治政が茶事を楽しんだことがある花葉軒(現茂松庵)で煎茶とお菓子を出した。

### ④ 特別解説会等

ア 企画展「備前岡山藩の学び—藩主の教養・藩学校・閑谷学校—」(林原美術館)、企画展「江戸時代の岡山の学び—教育泉の源流—」(岡山県立博物館)

2館を巡る特別解説会 6月1日(木) 参加者34人

解説: 槌田祐枝学芸員(林原美術館)

初代岡山藩主池田光政が創設した藩学校に掲げられた中江藤樹筆の聖号「至

聖文宣王」や、藩学校奉行の市浦毅斎筆と伝わる『朱文公学規』、そして閑谷学校のお茶室「黄葉亭」にまつわる『黄葉亭記』など岡山藩における“学び”を象徴する2つの学校に関する資料を展示、併せて光政自身が書写した経書や和歌の写本等から、近年注目されている藩主自身の“学び”についても紹介

解説：内池英樹学芸課主幹（県立博物館）

岡山藩主池田光政が1669年、全国に先駆けて設立した藩学校に掲げた額の元字である「扁額本紙」（県重文）、翌年に庶民教育のため創建した閑谷学校の俯かん図「閑谷学図」（1813年、国重文）など52件を展観。江戸時代を中心に、県内各地で行われた人々の学びにかかわる文化財をとり上げ、教育県としての岡山の歴史について紹介

イ 『祝・日本映画120年!!「目玉の松ちゃん」でご存知ですか?』上映説明会  
（岡山県立図書館デジタル情報シアター） 8月4日(金) 参加者 50人

解説：尾上松之助遺品保存会 松野吉孝代表

生涯にわたり、約1000本以上の映画に出演し、大きな目玉をぎょろりとむく姿から、「目玉の松ちゃん」の愛称で親しまれた岡山出身で日本映画草創期のスター、尾上松之助（1875～1926）の偉大な足跡や京都での福祉事業など岡山では余り知られていない一面を日本映画120年を機会に岡山で知ってもらおうと開催（一般上映は8月5日(土)、6日(日)）

ウ 特別展「金重陶陽 没後50年展」（林原美術館）、特別展「備前刀 -日本刀の王者-」（岡山県立博物館）2館を巡る特別解説会 9月21日(木)

参加者18人

解説：橋本龍主任学芸員（林原美術館）

備前焼中興の祖と呼ばれる金重陶陽（1896～1967年）は、備前焼の窯六姓の一つである金重家に生まれ、様々な工夫と努力を積み重ね、桃山風備前を再興させ、備前焼で初となる重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定された。陶陽没後50年、今日の備前焼の隆盛の礎を築いた陶陽の業績を初期の細工物から茶陶や食器類など陶陽の代表作約100点とともに偲び、陶陽芸術の全貌を紹介

解説：佐藤寛介学芸員（主幹）（県立博物館）

岡山県南東部にあたる備前国は、かつて質・量ともに日本一の刀剣産地とし

て栄え、平安時代から現代にいたる備前刀の名品を通して、日本刀の王者ともいえる備前刀の魅力を紹介

エ 特別展「慈愛の人 良寛ーその生涯と書」(岡山県立美術館) 美術鑑賞会

11月2日(木) 参加者 19人

日本有数の良寛コレクター秘蔵の作品を中心としておよそ150点を展示し、慈愛の人良寛の魅力に迫る。

解説: 中村麻里子学芸課長

### (3) 定期刊行物、映像資料、印刷物等の作成、頒布

#### ① 定期刊行物

ア 広報誌「きび野」の発行

第146号(6月)、第147号(9月)、第148号(1月)、第149号(3月)、  
各4,000部

イ 財団ニュース「お知らせ」送付 適宜

ウ 郷土文化講座講義録「岡山の自然と文化」 No.37 編集、配布した。

平成28年度郷土文化講座の講義録 2,400部(3月)

#### ② 県民愛唱歌「みんなのところに」の頒布

#### ③ ホームページの更新等 随時

財団事業の普及を図るため、ホームページの充実を行った。

#### ④ 既作成の映像資料、印刷物等の頒布 随時

岡山県自然・文化財シリーズ、岡山県人物シリーズ等

### 公3 地域文化振興事業(第4条第3号関係)

#### (1) 地域文化の創造、育成に関する事業

##### ① 郷土文化財団クラシックコンサート

日時 1月21日(日) 午後2時開演

場所 高梁総合文化会館

演奏 倉敷管弦楽団

曲目 ベートーヴェン 交響曲第5番運命から第1楽章ほか

たかはし広がる子どもの夢事業実行委員会との共催で、高梁城南高等学校吹奏楽部や高梁少年少女合唱団との共演などを含めた演奏に約200人が楽しんだ。

## ② 会員作品展

会期 5月23日(火)～5月28日(日) 来場者 950人

場所 天神山文化プラザ

出展 129点(絵画77点、写真47点、タペストリー等5点)

関連イベント 平成28年度の財団事業報告のパネル展示

## ③ 県内各地で開催される各種文化活動の共催、後援

### ア 共催

第32回下津井節全国大会(9月23日(土・祝)、24日(日)開催)

### イ 後援

「岡山の美術」特別展示 金谷哲郎・金谷朱尾子 作品選ほか70件

## (2) 苗木交付事業

古くから親しまれてきたサクラ・ウメの苗木を市を通じて地元コミュニティに交付した。

赤磐市 ソメイヨシノ(桜) 50本

桜ヶ丘東第2近隣公園ほか2箇所(市有地)

総社市 舞姫(桜) 100本 総社市久代地内(正木山山頂付近)

津山市 南高梅 100本 津山市神代436-1他(津山市神代梅の里)

備前市 小粒南高梅 50本 備前市吉永町加賀美地内(八塔寺ふるさと村)

## (3) 伝統的工芸品保存事業

岡山県指定重要無形民俗文化財(民俗技術)に指定された郷原漆器展示即売会「おしらせ」等による広報面での支援を行った。

期間 1月17日(水)～22日(月)

場所 倉敷天満屋4階美術画廊

## 公4 受託事業(第4条第5号関係)

### (1) 文化財庭園「後樂園」の管理運営受託

#### ① 管理業務

ア 園地、亭舎、樹木等の維持管理

イ タンチョウの飼育



## ② 運營業務

### ア 入園業務

早朝開園(試行) 9月1日(金)～9月30日(土) 午前6:30から開園  
10月1日(日)～11月30日(木) 午前7:00から開園

### イ 亭舎貸出

園内亭舎の貸出予約の受付や貸出に伴う連絡調整を行った。

### ウ 入園者等への情報提供等

正門入口等で、入園者等へパンフレットを配布し、行事や園内施設の案内等  
様々な問い合わせに対し情報提供を実施

### エ 後楽塾(後楽園専任ボランティア)の育成

(ア) 13期生募集 8月8日(火)～10月6日(金) 入塾式11月8日(水)

基礎講座(11月8日(水)から3月まで15回)

修了後、3月20日(火)から平成32年3月31日(火)までの2年間、

園内のボランティアガイド活動

応募状況 9名(募集20名程度) 内訳:男性1名、女性8名

入塾人員 5名 内訳:女性5名

内、外国語のガイド

英語2人、英語・中国語1人

(イ) 11期生卒塾記念ガイド「いにしえの後楽園とその変遷」3月2日(金)

(ウ) 11期生卒塾式 9名(内訳:男性5名、女性4名) 3月20日(火)

平成27年11月に入塾、園内ガイドやイベント運営などの活動をしてきたが平成30年3月31日(土)に任期満了。卒塾後、希望者は後楽園登録制ボランティア「キラリ応援隊ガイド部門」に登録し、引き続きガイド活動を行う。

(エ) 13期生出発式 3月20日(火)

### オ 後楽園登録制ボランティア「キラリ応援隊清掃部門」活動 年21回園内清掃

### カ キラリ応援隊一日隊 12月10日(日)午前9時～午前12時

ボランティアによる園内の一斉清掃

## ③ 行事等運営

### ア 伝統年中行事

- (ア) 茶つみ祭 5月21日(日) 美作市海田茶摘み踊り保存会
- (イ) お田植え祭 6月11日(日)  
哲西町はやし田植え保存会、神代郷土民謡保存会
- (ウ) 観蓮節 7月2日(日) 延養亭での箏曲演奏、茶席
- (エ) 名月観賞会 10月4日(水) 延養亭での箏曲演奏、茶席
- (オ) 稲刈り体験 10月11日(水) 岡山市立中央小学校5年児童120人
- (カ) 松のこも巻 10月18日(水)
- (キ) 初春祭 正月三ヶ日 延養亭での箏曲演奏
- (ク) 芝焼き 2月7日(水)
- (ケ) 松のこも焼 2月21日(水)
- (コ) タンチョウの園内散策

9月17日(日※1)、24日(日)、10月9日(月・祝)、16日(月)、  
28日(土)、11月5日(日)、12月9日(土)、17日(日)、1月1日  
(月・祝)、3日(水)、2月4日(日※2)、11日(日※2)

※1 台風第18号の接近のため中止

※2 鳥インフルエンザ発生のため中止

#### イ 後楽園魅力向上委員会事業への協力

- (ア) ㊦春季夜間特別開園「春の幻想庭園」4月28日(金)～5月7日(日)
- (イ) 鶴鳴館文化講座「後楽園花めぐり」(「春の幻想庭園」期間中)  
日時 5月1日(月)、6日(土) 午後7時～午後8時30分  
講師 万城あき主任研究員  
園内の花を中心に、後楽園の魅力を解説。講師と共に春色に染まる園内を巡る。
- (ウ) 夜間特別開園「夏の幻想庭園」8月1日(火)～31日(木)
- (エ) 夜間特別開園「秋の幻想庭園」11月17日(金)～26日(日)
- (オ) 栄唱の間文化講座「お座敷から眺める夜の紅葉」(「秋の幻想庭園」期間中)

日時 11月21日(火) 午後5時～午後8時

講師 万城あき主任研究員

殿様のお座敷から眺める景色と紅葉をたのしむ。

(カ) 「開園記念日」 3月2日(金) 延養亭前庭公開

ウ 後楽園の魅力発信のための財団の取組

- ・「日本の伝統文化体験会」(「夏の幻想庭園」期間中)  
県、NPO 法人岡山の和文化を楽しむ会と共催、岡山後楽園鶴鳴館  
予約のあった来園者に華道、香道、琴などの和楽器を体験し、和文化にふ  
れてもらった。
- ・「和文化体験 座敷で楽しむ」 毎月第一、第三金曜日  
県と共催  
園内建物の無料公開と簡単な和文化(折り紙等)の体験  
5月 廉池軒、6月 観騎亭、7・8月 鶴鳴館(8月18日は鶴鳴館本館)、  
9月 新殿(9月1日は鶴鳴館)、10月 観騎亭、11月 茂松庵、  
12・1・2月 鶴鳴館(1月19日寒翠細響軒、茂松庵)、  
3月 鶴鳴館(3月16日茂松庵)
- ・TWILIGHT EXPRESS 瑞風の旅での立ち寄り観光地、延養亭等のガイド対応  
山陽・山陰コース(周遊)で毎週水曜日に立ち寄り

## (2) 岡山の先賢を顕彰する「犬養木堂記念館」、「岡崎嘉平太記念館」の指定管理

### ① 犬養木堂記念館

ア 受託事業

- (ア) 記念館、木堂生家、木堂塾等の設備等の来館者への提供
- (イ) 犬養木堂等に関する資料の収集、保管及び展示
- (ウ) 犬養木堂に関する専門的な調査研究等
- (エ) 記念館等の維持管理
- (オ) 記念館等に係る行為の許可

イ 自主企画事業等

- (ア) 第23回 犬養木堂顕彰児童生徒書道展 3月16日(木)～5月7日(日)  
特別賞 25点 入賞 412点 入選 1073点
- (イ) 木堂祭 5月15日(月)  
記念講話  
演題 犬養木堂と江戸の儒学者 荻生徂徠  
講師 時任英人倉敷芸術科学大学教授

その他の催し お抹茶の接待・箏の演奏・生け花の展示

(ウ) 犬養木堂記念館所蔵 一品展 3 1 5月27日(土)～6月25日(日)

木堂から妻への手紙を4巻の巻物にした「木堂家信(かしん)」から「日露戦前遊歴」、「日露戦後遊歴」の2巻一日露戦争前後に行った朝鮮・中国からの手紙や遊説などで赴いた各地からの手紙18通を展示

(エ) 夏のミニ企画展 「すごいぞ!木堂 ～その信条と行動力～」

7月20日(木)～8月31日(木)

木堂のエピソードパネル、新聞記事、木堂書簡、当選証書など関連資料の展示とともに、マニフェストの提唱、普通選挙や婦人参政権、アジアとの連携をめざした木堂や木堂の勉強、書についてのエピソードなど多岐にわたってパネルで紹介

(オ) 犬養道子氏追悼展示 7月26日(水)～8月31日(木)

7月24日に96歳で亡くなった犬養道子氏(木堂の孫)に哀悼の意を表して、常設展示室の一角で道子氏著作の書籍や雑誌記事、木堂が思いやりのある人間に育ってほしいと道子氏に贈った「恕(じょ)」の書、昭和6年に新宿の邸宅で撮影された写真等を展示し、弱者に心を砕く木堂の精神を受け継いだかのように飢餓や難民救済に尽力した道子氏の活動を紹介

(カ) 秋の企画展 「字は面(つら)の芸 一木堂の揮毫の世界」

10月12日(木)～12月8日(金)

新たに発見された揮毫依頼関係のメモ、様々な形態の木堂の書や書・揮毫について書かれた手紙、したためる時に引用している詩句などを展示・紹介

・ギャラリートーク(展示資料の解説 石川由希主任(学芸員))

10月28日(土)、11月5日(日) 午前11時～(約1時間)

(キ) 紅葉と和文化を楽しむ会 11月23日(木)

旧犬養家住宅(国指定重要文化財)では、投壺と投扇興の体験と実戦、木堂塾では、犬養木堂(日本棋院から追贈三段)が愛好していた囲碁を楽しんでいただけるように「碁会所」と「囲碁教室」を開催、また、地元中国学園大学・中国短期大学茶道部によるお茶席を設置

協力:投壺と投扇興を楽しむ会、中国学園大学・中国短期大学茶道部、

## 吉備地区囲碁同好会

- (ク) 新春特別陳列「戊戌」の年の木堂を紹介 1月5日(金)～1月29日(月)  
常設展示室の一角で、木堂の年賀状や楽焼、文部大臣任官辞令等約30点を展示し、平成30年と同じ干支である「戊戌」の年の木堂を紹介
- (ケ) 犬養木堂記念館所蔵 一品展32 1月20日(土)～2月19日(月)  
一品展31に続き、木堂から妻への手紙を4巻の巻物にした「木堂家信(かしん)」から「支那革命赴援」、「二升庵家信」の2巻—辛亥革命の時に孫文激励のために行った中国からの手紙や二升庵にいる妻へ宛てた手紙など14通を展示
- (コ) 第24回 犬養木堂顕彰児童生徒書道展表彰式 2月24日(土)  
応募 249校 3,728点  
特別賞 25点 入賞 412点 入選 1075点
- (サ) 木堂記念館主催の企画展(4回)を対象としたスタンプラリー  
全企画展見学者に記念品プレゼント

## ② 岡崎嘉平太記念館

### ア 受託事業

- (ア) 記念館等の設備等の来館者への提供
- (イ) 岡崎嘉平太等に関する資料の収集、保管及び展示
- (ウ) 岡崎嘉平太に関する専門的な調査研究等
- (エ) 記念館等の維持管理
- (オ) 記念館等に係る行為の許可

### イ 自主企画事業等

- (ア) 第11回「嘉平太が愛したふるさと岡山写真展」  
4月16日(日)～6月18日(日)  
7月18日(火)～7月23日(日) 岡山県天神山文化プラザ
- (イ) 生誕120周年記念 岡崎嘉平太氏 顕彰シンポジウム  
日時 4月27日(木) 午後1時30分～午後4時20分  
会場 山陽新聞社さん太ホール(岡山市北区柳町2-1-1)  
主催 岡山県、山陽新聞社、岡山県郷土文化財団、岡崎嘉平太記念館  
共催 岡山県吉備中央町、全日本空輸

第1部 基調講演「岡崎先生と私」

大橋洋治氏(ANA ホールディングス相談役)

第2部 パネルディスカッション

コーディネーター 藤原健史山陽新聞社論説委員会主幹

パネリスト 朱金諾全日本空輸マーケティング室常任理事

守分宣精義塾理事長

松田久両備ホールディングス社長

李彦銘東京大学教養学部特任講師

第3部 ゆかりの方のメッセージ朗読

(ウ) 岡崎嘉平太生誕120年記念 夏は吉備中央町岡崎嘉平太記念館に  
みよう!

- ・嘉平太さんのこどもの頃-120年前の吉備中央町いろいろ-

嘉平太さんが生まれた120年前のふるさと吉備中央町を民話やむかし遊び  
とともに紹介。 7月8日(火)～8月14日(月)

- ・吉備中央町の民話の語りライブ

語りのグループ『加賀語りの会どんぶらこ』による、吉備中央町に伝わる  
民話のライブと七夕飾りの工作

7月9日(日) きびプラザ2階 キッズパーク

- ・絵手紙をかく会 7月27日(木)、展示7月31日(月)～8月31日(木)

(エ) 秋の特別企画展「岡崎嘉平太と日中友好にかけた人々～受け継がれる信と  
愛～」 9月22日(金)～12月27日(水)

岡崎嘉平太生誕120周年、日中国交正常化45周年という節目の年を  
機に、改めて岡崎嘉平太氏の日中友好にかけた人生を岡崎氏とともに日中  
国交正常化、日中友好に力を尽くした人々にもスポットをあて、その動向  
をたどりながら、歴史年表だけでは見えてこないアナザーストーリーと、  
現在に受け継がれている岡崎氏の遺志を併せて紹介

(オ) 岡崎嘉平太の生誕120周年記念番組「“信”と“愛”で紡いだ生涯～今  
に受け継がれる志～」への協力

放送 BSジャパン 10月15日 テレビせとうち 12日30日

(カ) 岡崎嘉平太生誕120周年記念「岡崎ゆみのファミリークラシックコン

サート」 11月5日(日) 吉備中央町ロマン高原かよう総合会館

吉備高原音楽祭のオープニングコンサートに岡崎ゆみ氏(岡崎嘉平太氏の孫でピアニスト)を特別ゲストとして招き、ピアノ演奏による独演会並びに地元参加者と共演

主催 吉備高原音楽祭実行委員会

共催 吉備中央町、吉備中央町教育委員会、岡崎嘉平太記念館

(キ) 岡崎嘉平太生誕120周年記念「岡崎ゆみトークイベント」

11月6日(月) きびプラザリゾートホテル

岡崎ゆみ氏が提唱する『クラシックを聴くと良い子が育つ』(CD付き著書)を中心としたトークとピアノ演奏

(ク) 第16回岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える講演会

日時 11月26日(日) 午後1時～午後4時

場所 吉備高原リゾートホテル大ホール(きびプラザ3階)

演題1

世界の平和と繁栄に貢献する日中をつくろう -岡崎嘉平太先生との思い出-

講師 逢沢一郎衆議院議員

演題2

日中国交正常化45周年に寄せて-岡崎嘉平太先生に学んだこと-

講師 大久保勲福山大学名誉教授

(ケ) 平成29年度 吉備中央町中学生国際交流研修団報告会

平成30年1月21日(月) 50人

(コ) 第10回嘉平太が愛したふる里の子ども作品展

2月23日(金)～3月4日(日)

(サ) 「岡崎嘉平太記念館だより」の発行

岡崎嘉平太記念館の活動報告や今後の予定、寄贈品紹介などを年2回配布した。

(シ) 「嘉あちゃんの部屋」の利用促進

岡崎嘉平太記念館「嘉あちゃんの部屋」を主に吉備中央町内の団体や住民に利用提供(無料)し、コミュニティづくりや学習、作品発表の場等として活用してもらい、地域振興に役立てた。

### (3) 岡山県自然保護センター

タンチョウ飼養管理及び傷病鳥獣の保護の再委託受託、動植物の調査研究、自然保護思想の普及啓発等業務補助

- ・ 6月6日(火)、3年ぶりにタンチョウのヒナ(♂)が誕生
- ・ 10月29日(日) 命名式 「ワケタン」
- ・ 2017年度日本ツル・コウノトリネットワーク総会

日時 2月17日(土)～18日(日)

会場 岡山後楽園(総会)、自然保護センター、きびじツルの里(エクスカーション)

### (4) 第十四回岡山県「内田百閒文学賞」の募集等に関する業務

岡山県が生んだ名文筆家 内田百閒の生誕百年を記念して創設された「内田百閒文学賞」を岡山県と共催で運営しており、岡山にゆかりのある作品を全国から募集・贈賞することにより、本県の文化の振興を図り、岡山の魅力を全国に発信するため、29年度は募集要項の決定を行い、募集業務を行った。

主催 岡山県、(公財)岡山県郷土文化財団、後援 岡山県教育委員会  
運営委員会の開催 6月8日(木) 募集要項・スケジュール等の決定

募集開始 7月18日(火) 締切:平成30年5月31日(木)

3月31日現在 応募者数 50作品